

國學院史上最速のスピードスター！



【出身高校】
愛知高校／愛知県
【所属】
経済NW学科4年

AOKI Yuto
青木 祐人

【5000m】 13'54"49(歴代3位)
【10000m】 28'44"01(歴代2位)
【ハーフマラソン】 64'14"

國學院にとっては鬼門となっていた3区で一昨年、昨年と2年連続で好走している。昨年は区間6位で國學院新記録を樹立しており、今年も3区での出走が予想される。今年は全日本大学駅伝で5区区間賞を獲得。浦野、土方、藤木と共に4本柱の1人。箱根では、主要区間で区間賞を目指す。

歴代最速エース！山の神へ！



【出身高校】
富山商業高校／富山県
【所属】
経営学科4年

URANO Yuhei
浦野 雄平

【5000m】 13'45"94(歴代1位)
【10000m】 28'28"45(歴代1位)
【ハーフマラソン】 62'62"(歴代1位)

関東インカレ2種目日本人トップ、5000m,10000m,ハーフで國學院新記録、全日本大学駅伝、出雲駅伝と連続で区間新記録更新と、名実ともに歴代最強のエースであり、学生駅伝界を代表する選手となった。前回区間記録を更新した5区での出走が濃厚であり、どんな位置で襷を受けても必ずトップを取るだろう。

歴史を変え続けたキャプテン！



【出身高校】
埼玉栄高校／埼玉県
【所属】
健康体育学科4年

HIJIKATA Hidekazu
土方 英和

【5000m】 14'07"25
【10000m】 28'44"28(歴代2位)
【ハーフマラソン】 62'62"(歴代1位)

関東インカレ日本人トップ、ハーフで國學院新記録、全日本大学駅伝区間賞と、浦野に全く引けを取らない結果を残してきた。前回区間7位を獲得した2区を任される可能性が高く、他大学のエースに競り勝つ走りに期待したい。東海大学の館澤、駒澤大学の中村大聖とは埼玉栄高校時代の同級生。

偏差値70超えのインテリランナー！



【出身高校】
高崎高校／群馬県
【所属】
史学科4年

MOHARA Daigo
茂原 大悟

【5000m】 14'14"49
【10000m】 29'27"84
【ハーフマラソン】 64'01"

偏差値70を超える高崎高校出身の秀才ランナー。昨年の箱根、今年の出雲、全日本と、三大駅伝すべてを経験し、非凡なエースたちとともに高まる期待とレベルの中で酸いも甘いも経験した。卒業後は教員となるため箱根駅伝がラストレースとなる。4年生として集大成を見せたい。

3年生唯一の箱根経験者！



【出身高校】
鳥取城北高校／鳥取県
【所属】
健康体育学科3年

USUI Kenta
白井 健太

【5000m】 14'20"20
【10000m】 29'30"96
【ハーフマラソン】 63'47"

1年時に箱根駅伝6区を、1・2年時に全日本大学駅伝を経験しており、3年生の中では一番経験がある。昨年から長期間にわたって故障をしていたが、ついに復帰しメンバー入りを果たした。直前のレースはまだまだ本調子ではなかったものの、来年以降のさらなる飛躍に向けて、白井の復調は必須である。

國學院の小さな元気印！



【出身高校】
種南高校／鹿児島県
【所属】
神道文化学科3年

KAWAHIGASHI Kandai
河東 寛大

【5000m】 14'19"11
【10000m】 29'43"89
【ハーフマラソン】 63'29"

小柄ながらダイナミックな走りが特徴的な選手。今季はハーフマラソンで大幅に自己ベストを更新しており上がり調子である。今年の出雲、全日本ではメンバー入りしているものの、出走経験はない。チームのムードメーカー的な存在であり、河東の走りでのチームのいい流れを引き寄せたい。

粘り強さが持ち味のど根性ランナー



【出身高校】
柏日体高校／千葉県
【所属】
法文学科3年

TAKASHIMA Ryoya
高嶺 凌也

【5000m】 14'34"65
【10000m】 29'38"94
【ハーフマラソン】 63'52"

1年時からロードで抜群の安定感を見せており、持ちタイム以上の力を発揮する。今年の高島平10kmkでは4位に入っており、マラソンの川内優輝にも勝っている。復路で活きる國學院らしいランナーであり、往路優勝後の復路で3位以内を維持するためには、高嶺のような粘り強い走りが必要である。

箱根駅伝3度目のエントリー！



【出身高校】
八千代松陰高校／千葉県
【所属】
経済学科3年

TAGAWA Yoshimasa
田川 良昌

【5000m】 14'23"83
【10000m】 29'55"62
【ハーフマラソン】 64'05"

1年目から3年連続で箱根にエントリーされるも、まだ未出走である。今季は5000mとハーフマラソンで自己ベストを更新しており、確実にレベルアップしている。高嶺同様に粘り強さが持ち味の選手であり、復路タイプの選手である。三度目の正直で出走し、チームに貢献したい！

3年生最速ランナー！



【出身高校】
東京実業高校／東京都
【所属】
経営学科3年

FUJIMURA Ryoga
藤村 遼河

【5000m】 14'30"65
【10000m】 29'28"02
【ハーフマラソン】 63'25"

今季のハーフマラソンで歴代10位の記録まで2秒という記録を叩き出し、國學院の3年生最速ランナーとなった。3年生は大舞台での経験が少ない選手が多いが、藤村は上級生としてたびたび練習を先頭で引っ張る姿を見せており、それが結果として現れ始めている。練習通りの力を本番でも発揮してほしい！

爆発力のある九州男児！



【出身高校】
太分透明高校／大分県
【所属】
経済学科2年

KITSUKI Rin
木付 琳

【5000m】 14'30"97
【10000m】 29'38"64
【ハーフマラソン】 -

気持ちを前面に出した強気な走りが特徴的な九州男児ランナー！今季は初戦の10000mで自己ベストを約2分更新すると、次戦の甲佐10マイルでは順天堂大学や創価大学のエースを抑え、実業団トップクラスと渡り合った。浦野や土方が注目選手と挙げており、箱根では持ちタイム以上の力を発揮してくれそう。

怖いもの知らずの超新星！



【出身高校】
藤岡中央高校／群馬県
【所属】
経営学科2年

SHIMAZAKI Yoshinori
島崎 慎愛

【5000m】 14'31"88
【10000m】 28'46"83(歴代5位)
【ハーフマラソン】 65'23"

昨年はケガで苦しんでいたものの、今シーズン一気に成長を遂げた。6月には10000mで歴代5位となるタイムを叩き出し、名ランナーの証である28分台ランナーの仲間入りを果たした。全日本大学駅伝でも1区を経験し、実力も経験も備わったため、あとは箱根駅伝で結果を出すのみ！

安定感抜群の箱根経験者！



【出身高校】
益田清風高校／岐阜県
【所属】
健康体育学科2年

DONJI Takuro
殿地 琢朗

【5000m】 14'40"59
【10000m】 29'43"64
【ハーフマラソン】 64'11"

昨年は1年生ながら箱根駅伝デビューを果たし、チーム唯一の復路経験者である。高校時代からロードに長けた選手であり、トラックのタイム以上の力を期待できる。國學院は藤木、殿地、島崎、木付と有力な2年生が揃っており、不作と言われる他大学の2年世代と比べて、最強の学年であることは間違いない。

2年生世代の学生最強ランナー



【出身高校】
北海道栄高校／北海道
【所属】
神道文化学科2年

FUJIKI Kota
藤木 宏太

【5000m】 14'06"66
【10000m】 28'46"41(歴代4位)
【ハーフマラソン】 62'17"(歴代3位)

昨年度は全日本、箱根で活躍し、U20ハーフマラソンの歴代5位の記録を樹立。さらに10000mで大学歴代4位となる28分台の記録を叩き出すと、全日本インカレでは土方に次ぐ学生2位でフィニッシュ。間違なく2年生世代であり、来年以降の最強エース候補である。箱根駅伝主要区間で区間賞を狙う！

この夏急成長の注目ルーキー！



【出身高校】
浜松工業高校／静岡県
【所属】
経営学科1年

KAWASAKI Kosei
川崎 康生

【5000m】 14'28"49
【10000m】 29'55"61
【ハーフマラソン】 63'58"

高校時は目立った成績がなかったものの、この夏、頭角を現した注目のルーキー！今季のハーフマラソンでは、世代最速争いをする中西大翔を上回る1時間3分台の好タイムを記録。出雲駅伝にもエントリーされた。最強世代との呼び声も高いハイレベルな1年生世代の中で、中西兄弟とともに最強争いをしたい！

史上最速のスーパールーキー！弟！



【出身高校】
金沢龍谷高校／石川県
【所属】
健康体育学科1年

NAKANISHI Taiga
中西 大翔

【5000m】 13'54"36(歴代2位)
【10000m】 29'34"81
【ハーフマラソン】 63'59"

高校時代からクロカン日本代表に選ばれるなど鳴り物入りで入学した選手。5000mで浦野に次ぐ歴代2位の記録を樹立すると、出雲駅伝、全日本大学駅伝ではどちらも区間5位以内の安定した走りを見せた。箱根駅伝でも主要区間での活躍が期待される。中西唯翔とは双子であり、大翔は弟。

全日本区間5位の双子ルーキー！兄！



【出身高校】
金沢龍谷高校／石川県
【所属】
健康体育学科1年

NAKANISHI Yuito
中西 唯翔

【5000m】 14'15"62
【10000m】 29'31"19
【ハーフマラソン】 67'10"

高校時代の記録は大翔に後れを取っていたものの、今季の10000mでは逆転！出雲駅伝は補員ながら補員の中で行われた5000mで自己ベストを更新、全日本大学駅伝でも区間5位の快走を見せた。今年は大翔とともに國學院大学初の兄弟の、しかも双子での襷リレーを実現したい！

自己ベスト チーム内順位

【10000m】

順位	氏名	タイム
1	浦野 雄平	28'25"45
2	青木 祐人	28'44"01
3	土方 英和	28'44"28
4	藤木 宏太	28'46"41
5	島崎 慎愛	28'46"83
9	茂原 大悟	29'27"84
10	藤村 遼河	29'28"02
11	白井 健太	29'30"96
12	中西 唯翔	29'31"19
13	中西 大翔	29'34"81
15	木付 琳	29'38"64
16	高嶺 凌也	29'38"94
19	殿地 琢朗	29'43"64
20	河東 寛大	29'43"89
27	川崎 康生	29'55"61
28	田川 良昌	29'55"62

【ハーフマラソン】

順位	氏名	タイム
1	浦野 雄平	1:02'02"
1	土方 英和	1:02'02"
3	藤木 宏太	1:02'17"
4	藤村 遼河	1:03'25"
5	河東 寛大	1:03'29"
6	白井 健太	1:03'47"
7	高嶺 凌也	1:03'52"
8	川崎 康生	1:03'58"
9	中西 大翔	1:03'59"
10	茂原 大悟	1:04'01"
11	田川 良昌	1:04'05"
12	殿地 琢朗	1:04'11"
14	青木 祐人	1:04'14"
22	島崎 慎愛	1:05'23"
28	中西 唯翔	1:07'10"
—	木付 琳	—